

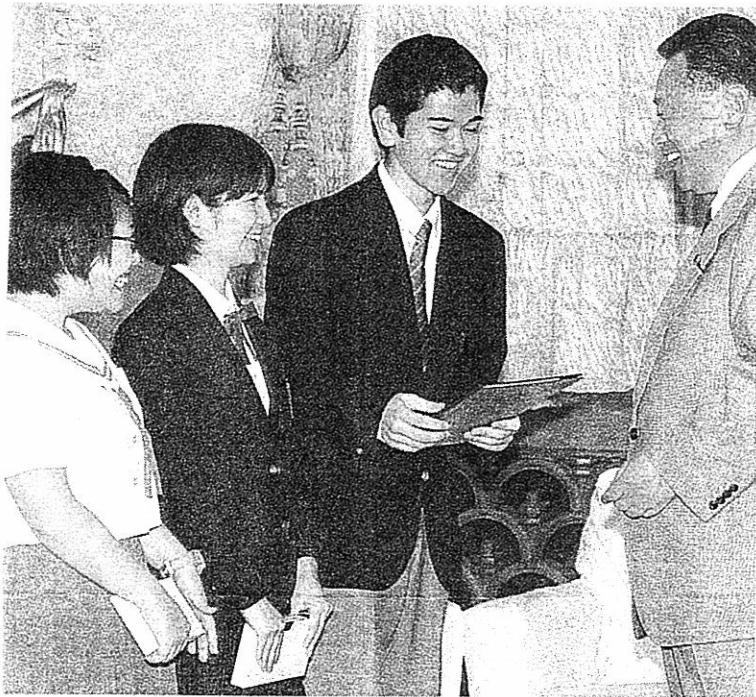
2000年(平成12年) 7月13日 木曜日

王充

王求

秦斤

幸辰



「G8高校生サミット」の提言書を森首相に渡す(左から)
浜田好恵さん、喜屋武百合子さん、友寄隆智君=12日午後、
首相官邸

環境税実施 首相に提言

G8高校生サミット代表

【東京】六月下旬に開かれた「G8高校生サミット」を代表して県内の高校生三人が十二日、首相官邸を訪ね、地球規模の環境税実施などを求めるG8高校

生三人が十二日、首相官邸に手渡した。森首相は「皆さんの提案をしっかりと受け止め、次代の責任者がきちんと実行できるよう約束しよう」と述べた。G8首脳には、各国の高校生代表が提言を伝えて

い。高校生代表は、昭和薬大付属高三年の友寄隆智さん、知念高三年の浜田好恵さん、球陽高三年の喜屋武百合子さん。高校生サミット実行委員長の樋口広太郎・アサヒビール名誉会長、同副委員長の小玉正任・沖縄協会会長が同席した。友寄さんは「国際会議で自分の考えを相手に伝えるのは難しいが、非常に意義があった」、浜田さんは「みんなで一つのことをくり上げる」ことができた、喜屋武さんは「世界の平和について討論できた」とそれ高校生サミットに参加した感想を述べた。



白熱した議論を展開するG8高校生サミット分科会
参加者ら=宮野湾市・沖縄コンベンションセンター

G8高校生サミット

世界平和へ若者の力

どんどん新たなアイデア続々

沖縄サミット参加国の高校生らが環境、平和、経済について討議する「G8高校生サミット」が二十四日、宮野湾市の沖縄コンベンションセンターで開幕した。二十五日まで。世界の課題に若者の視点からざん新で実現可能な提案を目指す。

初日はサミット開催国の日本から沖縄、福岡、宮崎県代表のほか、七ヵ国から計三十人が分科会に参加。環境分科会では、福岡県

環境問題の解決に「環境税」が電気の大切さを認識するため「一度、世界の電源や世界共通の教育カリキュラムをつくる」、世界平和の維持に「若者や専門家が参加する調停機関をつくり、そこで議論をインターネット上で公開」など白熱した議論を交わした。

フロアには全員から約二百六十人の高校生が参加、代表者の討論に熱い視線を送った。環境分科会では、福岡県

「このはどうか」と再提案した。平和分科会では、ドイツのセバスチャン・ライヒヤウさんの意見から、国家間の紛争を解決するため、NGOによる新しい調停機関を設立するアイデアが生まれた。

また、球陽高校の喜屋武百合子さんが「国際平和ユース委員会」の案を出し、それを基に、インターネットを使って学生フォーラムで調停機関の話し合いに世界の学生たちが参加すると、経済分科会は発展途上国への援助の在り方に議論が集中した。「援助金の使い道を見極める監視機関を設置する」などの意見も。



で調停機関の話し合いに世界の学生たちが参加すると、

いう提案も出た。

経済分科会は発展途上国への援助の在り方に議論が集中した。「援助金の使い道を見極める監視機関を設置する」などの意見も。

界の学生たちが参加すると、

いう提案も出た。

経済分科会は発展途上国への援助の在り方に議論が集中した。「援助金の使い道を見極める監視機関を設置する」などの意見も。